

令和元年台風第19号による被害に対する 関西広域連合長(兵庫県知事)コメント

このたび令和元年台風第19号による被害により亡くなられた方々に心より哀悼の誠を捧げるとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

関西広域連合では、迅速に被災地を支援するため、現在、被災地の被害状況や支援ニーズの把握にあたっており、今後、把握した情報をもとに、被災各県や全国知事会その他関係団体とも協議のうえ、関西広域連合構成団体が一体となって必要な支援を行います。

さっそく、家屋被害認定や罹災証明発行事務、避難所運営、被災者のこころのケア、災害ボランティア活動支援など、当面考えられる支援についても、被災各県等と協議のうえ、準備が整いしだい直ちに必要な人材の派遣を行います。

阪神・淡路大震災を経験した兵庫・関西として、東日本大震災や平成30年7月豪雨等の支援経験を生かしながら、被災地の一日も早い復旧・復興に向け、支援協力していきます。

令和元年10月14日

関西広域連合長(兵庫県知事) 井戸敏三